

●産学公の連携による新産業の育成・振興と新事業の創出

産学公の連携の下、京都に集積する企業・大学・研究機関等の優れた技術と知的資産を活かして、イノベーション（技術革新）を持続的・発展的に創出するとともに、幅広い企業の連携を促進し、「環境・エネルギー」、「ライフサイエンス」など社会課題解決型の成長分野に焦点を当て、付加価値の高いものづくり産業を育成・振興します。また、コンテンツ、デザイン、文化芸術など京都の有する地域資源を活かした新産業・新事業の創出を図ります。

京都市ライフイノベーション推進戦略の概要

～医療、健康・福祉・介護、地場ライフサイエンス分野の産業振興に向けて～

1 策定趣旨・概要

今後の発展が大いに期待される医療・健康・福祉・介護、地場ライフサイエンス関連等の産業振興に向け、取り組むべき施策・取組内容等を示したもので、当該戦略に基づき、地元中小企業・ベンチャーを含めた企業、大学・研究機関、行政等の産学公連携による研究開発プロジェクトの推進や事業化支援、販路開拓支援等を進めていく。

・計画期間：平成27年度～平成32年度

2 重点的に取り組む分野

・次世代医療分野

京都発革新的医療技術開発助成事業を通じた技術シーズ等の発掘と産学公連携プロジェクトの創成等

・健康・福祉・介護分野

健常者データの収集・分析の仕組みづくりの検討及び収集したデータ等と計測・分析・ICT技術を得意とする企業との連携による新たな機器開発支援等

・地場資源活性化分野

日本酒等の製造技術の高度化の推進及び国内外のニーズに応じた発酵技術の開発、商品化の促進等

3 ライフイノベーションを引き起こす戦略

戦略Ⅰ 大学等の研究成果の事業化支援

・京都市ライフイノベーション創出支援センターの設置等

戦略Ⅱ 産学連携・産産連携による新事業・新産業の創出支援

・異業種交流会の設置等

戦略Ⅲ 中小・ベンチャー企業の技術の高度化支援・技術者育成支援・ネットワーク化

・京都バイオ計測センターにおいて高度研究機器等を活用する技術者育成事業の推進及び技術者等の活用等

戦略Ⅳ 公的機関等の充実と企業立地支援の推進

・ライフサイエンス分野の産業支援機関ネットワークの強化等

戦略Ⅴ グローバル展開の支援

・ライフサイエンス分野の海外産業支援機関との連携体制の構築及び産学連携を目指した都市間連携協定の推進等

4 ライフイノベーションの推進に向けて

成果指標1 ライフサイエンス分野の技術者育成数 500名

成果指標2 ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業及びオスカー認定企業、知恵創出“目の輝き”認定企業、ファンド獲得企業数 30社

成果指標3 プロジェクト創出数 60件

成果指標4 企業立地数 60社

「京都市グリーン産業振興ビジョン」の概要

1 ビジョン策定の趣旨

京都の強みを最大限生かして京都経済の活性化や安定した雇用の創出を図れるよう、今後の成長分野として期待されているグリーン産業の振興に向けて、ものづくりの観点から、これまでの取り組んできた施策を体系化するとともに、これから取り組むべき施策の基本的な方向性を示す。

- ・計画期間：平成26年度～平成32年度

2 基本的な考え方

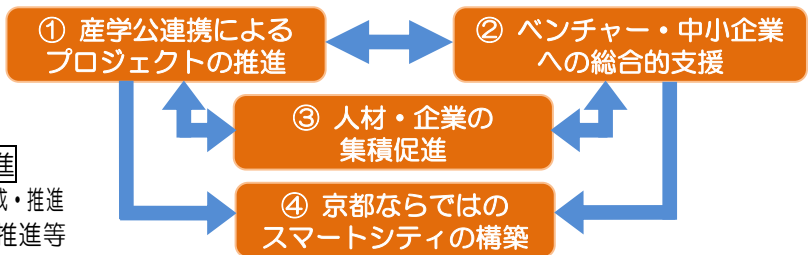
目指すべき姿

- 今後の成長分野として期待されるグリーン産業において、京都経済を支えている多様なベンチャー・中小企業が持てる力を発揮することにより、京都経済に活力を与え安定した雇用の創出
- 大学の発展に貢献し、我が国の産業の競争力強化の一翼を担っていくとともに、環境・エネルギー問題の解決に寄与
- グリーン産業の発展は、魅力的な商品・システムの提供による新たな生活様式の提案や利便性の向上、更には生態系や住環境の保全など、医療・介護、林業、観光など、他の産業の発展にも寄与
- ベンチャー・中小企業を中心に生み出された成果が様々な角度から産業及び社会生活に好影響を与え、京都経済の着実な成長と生活者にとり豊かで住みやすい社会の実現を図る。

実現に向けた取組方針

- 京都を取り巻く経済・社会状況や京都の特性を十分踏まえ、グリーン産業の特徴を勘案しつつ、産学公をはじめとした「京都」の持つ強みが最大限発揮されるよう、中小企業等の自らの強みや力量に応じた支援を行うなどきめ細かく取り組む。
- 京都地域は、省エネルギー・創エネルギーなど幅広い分野において事業展開の可能性を有していることから、重点分野の過度の絞り込みは行わず、これまで取り組んできた事業の発展や京都の強みを生かした新たな取組への幅広い支援を重視

3 施策の方向性



1 産学公連携によるプロジェクトの推進

- 産・学・公の多様な連携によるプロジェクトの組成・推進
 - ◆ バイオマスを活用したプロジェクトの推進等
- オール京都体制による革新的な研究開発プロジェクトの推進
 - ◆ クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築
 - ◆ 京都次世代エネルギーシステム創造戦略

2 ベンチャー・中小企業への総合的支援

- 京都高度技術研究所（ASTEM）における総合的な支援
- 京都市産業技術研究所による技術支援
- 「京都産業エコ・エネルギー推進機構」による一体的な支援
- 「グリーン産業」の特性に着目した支援

3 人材・企業の集積促進

- 産業振興拠点の有効活用と連携による集積促進
- 産業振興拠点における人材育成事業等の活用



4 京都ならではのスマートシティの構築

- 先端技術による安心・安全、ムダのないスマートな社会システム・魅力あるまちづくりの実現
- 環境先進システムの実証の実施
- 社会・経営環境の変化に対応した 「スマートシティ京都」の構築
 - ◆ 「スマートシティ京都研究会」等による新たなプロジェクトの組成
 - ◆ 岡崎地域におけるエリアブランド向上への貢献

4 ビジョンの推進に向けて

成果指標 ①	プロジェクト創出数 50 件	成果指標 ③	オスカー認定企業数 30 件
成果指標 ②	目利き委員会Aランク認定企業数 30 件	成果指標 ④	企業集積数 50 社

新規成長分野への支援

【重点事業】

地域イノベーション戦略推進事業：2,750万円〔新産業振興室〕

グリーン（環境・エネルギー）産業の振興を牽引するため、国の成長戦略に連動し、競争的資金を活用した革新的な研究開発プロジェクトを推進します。

京都地域においては、11年間取り組んできた「知的クラスター創成事業」の成果をもとに、平成25年度からオール京都体制のもと、以下のプロジェクトに取り組み、京都経済の活性化と国際競争力の強化を実現します。

（1）「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」（地域イノベーション戦略支援プログラム）

排出された二酸化炭素を原料として新規燃料を製造し、電力の貯蔵を化学的に行う「エネルギーを蓄えるシステム」、水素発生剤や触媒などの燃料電池のキーとなる材料を開発して「エネルギーを創る」システム、省力化して半導体パワー素子で直流を交流に変える「エネルギーをうまく使う」システムの研究開発を進め、CO₂のエネルギー利用を取り込んだ社会システム、高効率な給電システムを実現し、安全で持続的な次世代エネルギーシステムの構築を目指します。

（2）「クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」（スーパークラスタープログラム）

革新的SiC（炭化ケイ素）パワー半導体の社会実装を促進し、環境負荷が少なく、高効率で快適な社会を実現するとともに、量産技術の世界的優位性を堅持し産業競争力を高めることにより、新たなグリーン産業と雇用の創出を通じて、経済的にも豊かな社会の実現を目指します。

グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト：4,511万円〔新産業振興室〕

京都市・京都府・産業界が一体となって、オール京都体制で設立した（一社）京都産業エコ・エネルギー推進機構において、環境・エネルギー分野の企業支援策を実施することで、グリーン（環境・エネルギー）産業の創出・育成を図るため、下記の事業に取り組みます。

（1）京フェムス推進事業

ものづくり中小事業者に対して、先端技術を活用したエネルギー消費の「見える化」を通じて、製造現場における生産活動の効率化を図るエネルギーマネジメントシステム（FEMS）の普及に向けた支援策を展開します。

（※）FEMS（フェムス Factory Energy Management System）

工場内の配電設備、照明設備、製造ラインの設備等の電力使用量のモニターや制御を行うためのエネルギー管理システム

（2）京都企業グリーンイノベーション市場参入支援事業

成長分野として期待されるグリーン（環境・エネルギー）産業において、市場化・実用化を目指して製品開発を行う京都の中小企業を対象に、市場参入のための研究開発を支援します。

（3）中小事業者省エネ・節電サポート

省エネ・節電に係る診断や設備導入補助により、中小事業者の省エネ・節電への取組を支援します。

スマートシティ京都プロジェクト：3,924万円〔新産業振興室〕

京都市の特性を踏まえ、情報通信技術（ICT）を有効活用して、エネルギーの最適化をはじめ地域の抱える諸課題を解決し、ムダのないスマートな社会システムを構築し、市民の生活の質（QOL）の向上を目指します。

（URL: <http://www.smartcity-kyoto-project.jp/>）

（1）「スマートシティ京都研究会」等による新たなプロジェクトの組成

京都の特性を踏まえ、京都が抱える様々な課題の解決に挑戦していくため、企業、事業者から提案された知恵と技術を活用し、新たなプロジェクトを組成します。

(2) 岡崎地域公共施設間エネルギーネットワーク形成実証事業

岡崎地域の各公共施設への BEMS (建物エネルギー管理システム) や蓄電池等の導入と、各施設の BEMS をネットワーク化する CEMS (地域エネルギー管理システム) によりエネルギーマネジメントの実証を行い、公共施設間でのエネルギーの融通・効率化の先導モデルを確立します。

さらに、企業等の環境先進技術・製品の「見える化」などを実施する「エネルギーとエコの『ショーケース化』」に取り組みます。

ライフィノベーション創出支援事業：8,833 万円〔新産業振興室〕

医療産業振興のため、医工薬産学公連携支援事業を展開し、平成23年度からは、新たな医療機器・医薬品等の開発につながる京都発革新的医療技術研究開発助成事業を実施してきました。

さらに、平成23年12月には「関西イノベーション国際戦略総合特区」、平成26年5月には「国家戦略特区」の指定を受け、創薬、医療機器、再生医療、先制医療分野の研究開発の促進等に取り組んでいるところですが、平成27年度においては新たに策定した「京都市ライフィノベーション推進戦略」に基づき、京都発革新的医療技術研究開発助成事業を充実させるとともに、大学・病院・企業間のコーディネート活動を推進し、次世代医療分野、健康・福祉・介護分野等の事業化に向けて、京都発のライフィノベーションの創出を一層促進します。

(URL: <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/subsidy>)

(1) 医工薬産学公連携支援事業

「京都市ライフィノベーション創出支援センター」を拠点に、京都大学を中心とする医学・工学・薬学の融合分野における産学公連携を推進し、京都地域の医療産業の振興を図ります。

また、医工薬産学公連携支援シンポジウム、セミナーの開催やメールマガジンを活用した情報発信による医工薬連携ネットワークの形成なども、引き続き進めていきます。

(2) 京都発革新的医療技術研究開発助成事業

市内に設置されている大学の研究者及び市内に事業所を有する中小・ベンチャー企業を対象に、革新的な医療技術に関する研究開発活動に助成し、新たな医療産業への進出を希望する中小・ベンチャー企業に新規事業展開の「きっかけ」を提供するとともに、医療分野の新技术の開発と新産業の創出を支援します。

コンテンツ産業推進事業：7,200 万円〔新産業振興室〕

マンガ・アニメなど京都の持つコンテンツの魅力を国内外に広く発信するとともに、次代のコンテンツ産業を支える人材を育成するなど、コンテンツ産業の振興を図ります。

●コンテンツ産業振興に向けた新たな方向性の検討

コンテンツ産業振興に向けたこれまでの取組等を踏まえ、より一層の振興に向けた新たな方向性の検討を進めます。

●京都国際マンガ・アニメフェア (略称：京まふ) の開催

首都圏企業と京都市内企業等とを繋ぐビジネスマッチングの場を創出するほか、関西で優秀な若手クリエイターが育つための市場づくり、マンガ・アニメファン及び外国人も含めた新たな観光客層の掘り起こしを目的としたマンガ・アニメの総合見本市を開催することで、京都でのコンテンツ市場の構築を図ります。

(URL: <http://www.kyomaf.jp/>)

京都国際マンガ・アニメフェア
公式キャラクター (都萌(ともえ)ちゃん)



©藤島康介/
クロノギア クリエイティブ

●京都版トキワ荘事業

市内の京町家等を活用し、マンガクリエイターを目指す者同士が生活を共にしながら、切磋琢磨し合える人材発掘・育成拠点を整備するとともに、マンガ出張編集部や勉強会等を実施します。

(URL: <http://tokiwa-so.net/kyoto/>)

● KYOTO CMEX 2015(KYOTO Cross Media Experience 2015)

京都府、京都商工会議所等との連携の下、マンガ・アニメ、映画、ゲームなど、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、次代のコンテンツ産業を支える人材の育成・交流に取り組みます。

【新規事業】

京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業：3,200万円〔中小企業振興課〕

近年、農家を志す若者の就農支援や、障がい者の方も楽しく旅行できるユニバーサル観光の推進、子どもたちが親しめる伝統産業品の開発・販売など、様々な社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスに取り組む企業が増えています。

京都市では、こうした企業の創出を図るため、いち早く平成23年度からソーシャルビジネスの支援に取り組んでまいりました。

平成27年度からは、ソーシャルビジネスに取り組む企業やそれらを応援する人々が京都に集い、京都から日本の未来を切り拓く「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」を推進し、日本の「地方創生」を牽引する、全国初の取組を実施します。

＜主な取組内容＞

- ・ ソーシャルビジネス企業認定制度の創設
- ・ 社会的企業をトータルで育成する経営支援
- ・ ビジネスアイデア学習プログラム「RELEASE(リリース)」の充実 など

京都市グリーン産業振興ビジョン推進事業：1,000万円〔新産業振興室〕

平成26年5月に策定した「京都市グリーン産業振興ビジョン」に基づき、グリーン産業の創出を図るため、知的・技術的資源のマッチングなどを促進していく体制を整備し、産学公連携によるプロジェクトの形成を進めるとともに、グリーン企業の販路開拓に向けた情報発信などの支援を行います。

(「京都市グリーン産業振興ビジョン」の策定

URL: <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000165875.html>)

京都スマートシティエキスポ2015の開催：500万円〔新産業振興室〕

京都市、京都府、経済界等からなる「京都スマートシティエキスポ運営協議会」が開催する「京都スマートシティエキスポ2015」(平成27年5月20日～22日開催)において、京都企業の環境・エネルギーをはじめとするスマートシティ分野における海外企業との連携やグローバル展開等を支援します。

京都市ライフイノベーション推進戦略事業：2,500万円〔新産業振興室〕

ライフサイエンス関連産業を推進する分野のひとつである「健康・福祉・介護分野」において、大学と企業を結びつけ、研究開発・事業化を進めるための体制構築を行うほか、民間企業等による事業化・実用化を進めるための京都発革新的医療技術研究開発助成事業を拡充します。

京都大学国際科学イノベーション拠点における産学公連携支援拠点事業：1,050万円〔新産業振興室〕

京都大学が設置する国際科学イノベーション拠点(平成27年3月末竣工)において、産学公が連携し、研究成果の実用化に向けた支援を行います。

京都コンテンツの海外向け情報発信の強化：1,800万円〔新産業振興室、観光MICE推進室〕

海外における京都の認知度や関心を高め、外国人観光客の更なる増加につなげるため、海外のメディアや展示会を通じたマンガ・アニメ、映画、食、自然、伝統産業等、京都コンテンツの発信を充実させるとともに、海外メディアへの取材対応体制を強化します。

【継続事業】

地域産学官共同研究拠点事業：1億2,232万円〔新産業振興室〕

新規成長分野の中で、特に産学公連携の取組に大きな実績があり成果が期待できる「先端光加工」及び「バイオ計測」を本事業のプロジェクトに位置付け、高度研究設備を活用した共同研究や人材育成を行うことで、地域産業における持続的発展の実現を目指します。

先端光加工プロジェクトでは、京都大学による3次元加工技術の成果を中小企業に移転するとともに、フェムト秒レーザーや3Dプリンター等を活用した人材育成を図ります。

また、バイオ計測プロジェクトでは、研究機関の基礎技術と先端分析技術、企業の製品開発能力の融合により、酒造業界をはじめとする食品・試薬・計測機器産業におけるイノベーションの創出を図ります。

中小企業知的財産活用強化プログラム：82万円〔新産業振興室〕

京都地域に多数存在している高度な技術やオンリーワン技術を有する中小・ベンチャー企業を対象に、知的財産に係るセミナー等を開催し、知的財産スキルの向上を図ります。

京都産学公連携機構：550万円〔新産業振興室〕

京都における産・学・公のあらゆる機関が相互に情報を共有しながら、連携と協働を進めるための基盤として平成15年2月に設立しました。産学公連携に関する情報発信、調査研究・提言・要望活動、交流事業等を推進し、新事業・新産業の創出を図ります。

＜構成団体＞（平成27年4月1日現在）

京都市、京都府、京都商工会議所、京都大学をはじめとした地域の大学、経済団体など40団体

（産：15機関、学：21大学1機関、公：市・府・3公設試験研究機関、金：6金融機関）

＜主な事業＞

京都地域大学リエゾン協議会の運営、産学公連携コーディネータ交流会の運営、文理融合・文系産学連携促進事業の推進、京都イノベーションベルトの形成に向けた検討、ホームページやメールマガジン等による情報発信など